

てきとうふき
適当に、倜儻不羈に、同志社に学ぶ

December 27, 2004

青木 慎太郎

1. 最初の質問

問1：「視覚障害」あるいは「視覚障害者」といって思いつく単語を教えてください。

2. 点字のこと

問2：点字は、普通の文字が読めない視覚障害者の文字である・か？

(1) 視覚障害者に対する通常理解

見えない、普通の文字が読めない 不可能性 (disability) が付与される

* 健康な人を基準に考える医療モデルがある。

(2) 生活に着目する

目で見ない生活をしていない / 見ないで生活する

点字は目で見ない生活をしていない人、あるいは見ないで生活する人が使用する文字

3. 活動のこと・1 - 視覚障害者の歩行の自由と安全を考えるブルックの会

「誰もが自由に安全に歩ける街づくり」を目指して活動している。

(1) 佐木訴訟

1995年、大阪市営地下鉄御堂筋線天王寺駅で視覚障害男性の接触・転落事故発生
現場は、点字ブロックもない、転落防止柵もない、危険な空間。

ホームの端だったため、「通常、誰も立ち入らない」と判断。

安全対策の不備から、裁判へ。

1999年、提訴・ブルックの会設立

2001年、大阪地裁で敗訴。2003年、大阪高裁で和解成立。

(2) 現在の取り組み

大阪環状線駅ホーム安全性調査 (2004.10.11 実施)

大阪環状線駅ホーム利便性調査 (2004.3.7 実施)

JR 阪和線杉本町駅転落死亡事故に関する調査と JR 西日本への改善要求 (2004.12 ~)

大阪駅周辺「ことばのマップ」制作 (2001.10 ~)

* ホーム可動柵についてのシンポジウム (2005.2 予定)

4. 活動のこと・2 - 障害学生支援

(1) 動機

自分も障害学生だから。何か困ったことがあったときに、相談できる仲間がほしかった。
そして、大学と交渉するのに、団体に属していることは有利。

(2) 関西 Student Library (関西 SL)

2000 年度事務局長、2001 年度会長。在任中、「学内環境アンケート」を実施。各大学の障害学生支援の状況について調査。主な項目は、点字教科書の保障、設備改善、講義での配慮、情報保障、サポートシステム。

については、「点字」という発想は古い。また、「教科書」という発想も同じ。視覚障害学生には、点字のできない人もいる。最近では、テキストデータをむしろ必要とする学生もいる。また、教科書を使わない授業も増えているし、より発展的に学習するための文献や資料が必要。大学は柔軟に対応すべき。点訳ボランティアにも、点訳は要らないが OCR + テキスト校正、という作業が求められている。点訳に固執する人もいるようだが、視覚障害者の要求に応じてほしい。

はパソコン機器の購入や点字ブロック敷設など。ただ、学内の駐車・駐輪・座り込み対策も含めて考えるべき。また、より広く、通学路の安全も考える必要がある。

の講義での配慮は、板書の読み上げや指示語を使用しない、等の配慮をしているか、というもの。体育や実験・実習での配慮も含める。

の情報保障は、ここではとりあえず狭い意味での情報保障 (information としての情報)。掲示板の情報をちゃんと視覚障害者に伝えているか、というもの。

のサポートシステムは、大学として、きちりとしたシステムをもっているか、というもの。職員が代わったら対応が変わった、ということはよく聞くが、私たちのアンケートに対して、大学側でそれを認めたところはない。

(3) 最近の動き

関西 SL はここ最近、活動が停滞している。プラスに評価すれば、活動に参加する必要性に迫られる当事者が減っている、ということ。本当か？

2003 年 11 月、深田麗美さん等によって、「京都リップル」が設立される。「各大学の障害学生支援状況を改善し、障害学生らが勉強しやすい環境作りを目指す」(同会 HP より) を目的としている。関西 SL のように視覚障害に限定していないところが特徴。

問3：どうして、大教室の授業ではマイクが使われるのか？

5. 適当に、しかし、倜儻不羈に

(1) 適当

ほどよい(良い意味) - いい加減(悪い意味)

ほどよく真面目にやればいい。時には手を抜いてもいい。

(2) 倜儻不羈

新島襄の遺言。「信念と独立心とに富み、才気があって常規では律しがたい学生」

新島は同志社でこのような学生を育てるようにと遺言した。

6. 同志社

(1) キリスト教文化センター(公開講座)

点訳講座(京田辺:月2 今出川:木2)

手話講座(京田辺:木2 今出川:金2)

(2) 障がい学生支援制度 (学生支援課)

ノートテイク、PC 要約筆記、対面朗読、テキスト校正、ガイドヘルプ、車椅子介助など。視覚関係・聴覚関係の勉強会も実施。

(3) 問題点

上記 (1) (2) の連携が稀薄。

キリスト教文化センター公開講座に学生が来ない。

参考：「同志社は発展するにしたがって機械的に事进行处理する懸念がある。心からこれを戒めること」(新島襄の遺言)

参考 URL

Tenyaku.Net (点訳ネット) <http://www.tenyaku.net/>

ブルックの会 <http://brook.soc.or.jp/>

関西 SL <http://sl.soc.or.jp/>

京都リップル <http://kyoto-ripple.hp.infoseek.co.jp/>

青木慎太郎 <http://www3.kcn.ne.jp/~aoki/>